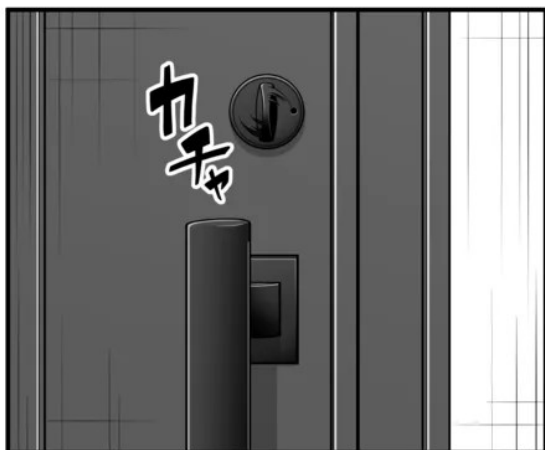




本編47P

お姉ちゃん
遊びに来るわ
が

イトコの





かなと——っ
ひさしぶり——っ

わっ!

わざわざ玄関まで
お迎えに来て
くれたの?

い、いや……

あ!

うぐっ

またちょっと
大きくなったね

あ、

あーもー
かわいいー!

あ、



はー
分かってる！

荷物が一杯
あるんだから
少しは運べ



ちょ……
は、はるね……

いつか私より
大きくなっちゃうん
だもんねえ……

おい
陽奈！



よお奏斗
悪いけどまた陽菜の
相手してやってくれ

うるさい
パパ

荷物下ろしたら
出かけるみたいだから
奏斗も用意しといて



あっ
おい！

久しぶりなんだから
挨拶くらいさせてよね



はい
これお土産

今日から三日
よろしくね

あ、ありがとう



今日一日は…

んーっ

ちんぽ



ちんぽ



ご飯食べる
ときも…

街を歩いている
ときも…

買い物する
ときも…



クラッ



ふーっ

ずっと
はる姉と一緒に
クタクタだ…



な、なに
勝手に!?

ちよ……っ
ええっ!

久しぶりに
一緒に入るー

おじゃましまーす



それは
しょうが
ないじゃん

お願いしても
絶対ダメって
言うんだから

そ、そんなの……



もう……
何考えて……

ガララ……



ガラ

だめに
決まってる
じゃん!

あ!
ちよっとー







はっ
はる姉？

もうお風呂
上がったの？

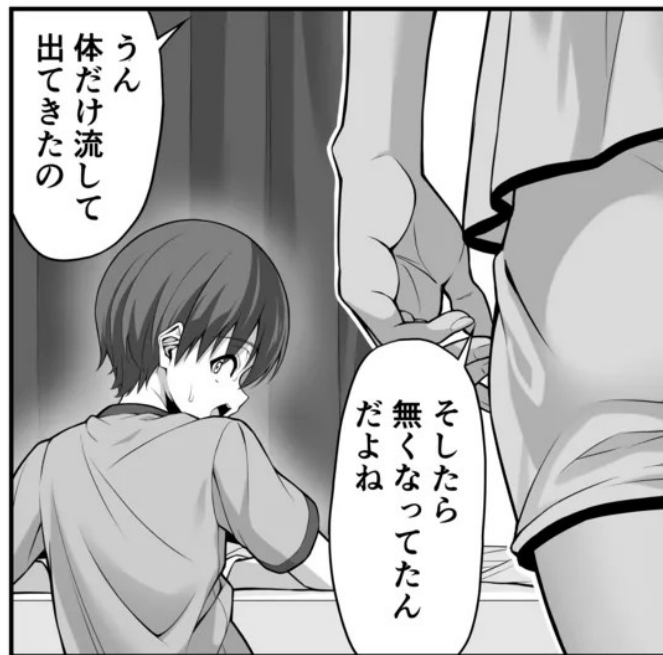


これがそうだよね？
さっき渡したやつ

そ、それは…

やっぱり持って
来てたんだあ…

ちがくて…



うん
体だけ流して
出てきたの

そしたら
無くなってたん
だよ



だから…

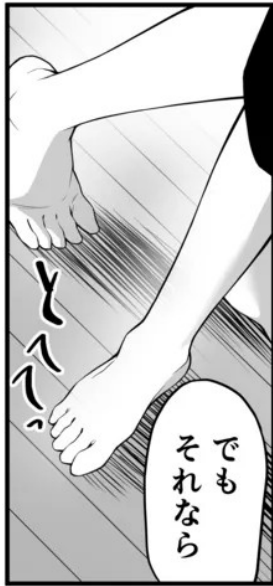
はる姉っ
そこはっ！



もしかしたら
ここかなって

あっ
あっ







もしかして私が怒って
いじめてるって
思っちゃた？

全然
そんなことないよ



あーもう
可愛すぎーっ！



むしろ逆…

もっとお姉ちゃん
えっちなことしてっ♡



はる姉…
これ…
んむ。

ゴシ

これで
どう？
奏斗の好きな
匂いする？♡

ふふっ
本当にこんなので
悦んじゃうんだね

すー

グフ

…んう

奏斗の
ヘンタイ♡

ん…？



んん…っ！

隠しちゃ
だうめ♡



あ
ごらあ♡

んんっ！
ん—っ



でもやっぱり
触ってほしい
よね?♡

触らなくても
こんなに
なっちゃうんだあ



すごい!
見て見て♡
奏斗のおちんちん
上向いてるよ?♡

んっ
んっ
んっ...



わ!
おちんちん
すっごい熱いよ!

それに触った
だけでこの反応...

動かしたら
どうなっちゃうん
だらうね?♡



しゅしゅしゅ♡

じゃあもつと
しゅしゅしゅ♡

お姉ちゃんに
しゅしゅされて
おちんちん
気持ちいいね♡



こうやって
しゅしゅ擦ると...

ふふっ♡
やっぱり気持ち
いいんだ♡



幸せなら出してっ♡
おしゅこ
みたいなのっ

我慢しないで
出してっ♡



どう？奏斗
おっぱい
おいしい？

はあ♡
おちんちん
気持ちいい？

今幸せかなあ？
はあ♡



おっぱいも
嗅ぐだけじゃなくって

赤ちゃんみたいに
吸って♡

ちゅちゅ



嬉しい...♡
ちゃんと気持ちよく
なってくれたんだ...

はあー

あま...

スチ...

これが
奏斗の...

んんん

んんん

んん

は...

ピリッ

は

は

は



ふんふん...

うわ...
なんかすげえ...

嗅いだことない
匂いだけど...



すっごく
エッチかも...

あ...だめ...
ほし...

はあ...

奏斗の
ほしい...

はあ...

ほしいほしい
ほしい...っ!

うわっ
ふっ

もう我慢
できないっ!

はあ...

うわっ

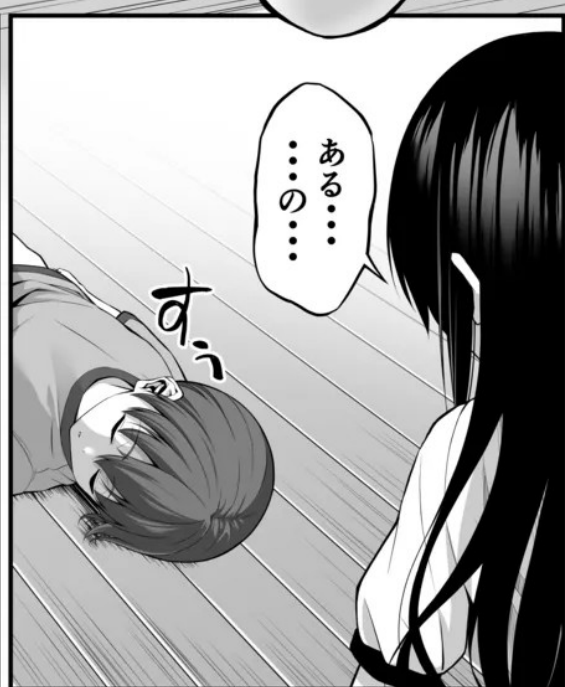
ん...
っ...

はあ...

はあ...



それは
ヒドいよお...



ある...
...の...

すっ



奏斗っ
お願いが...



ん…

IPX…

もぎもぎ

んん…?

おはよ♡

あ……
……え?



それよりもう
起きないと

今日は朝から
出かける
らしいから




大丈夫♡




気づいたら
手がっ…

ごごめん
なさいっ！
でっ…でも
わざとじゃっ




その日
はる姉はいつもと
変わらないように
見えたけど


僕の方は昨日のことが
頭から離れなくて



はる姉といると
胸がドキドキ
するし



ずっとはる姉のことを
考えている間に
気づけば一日が
終わりにかけていた

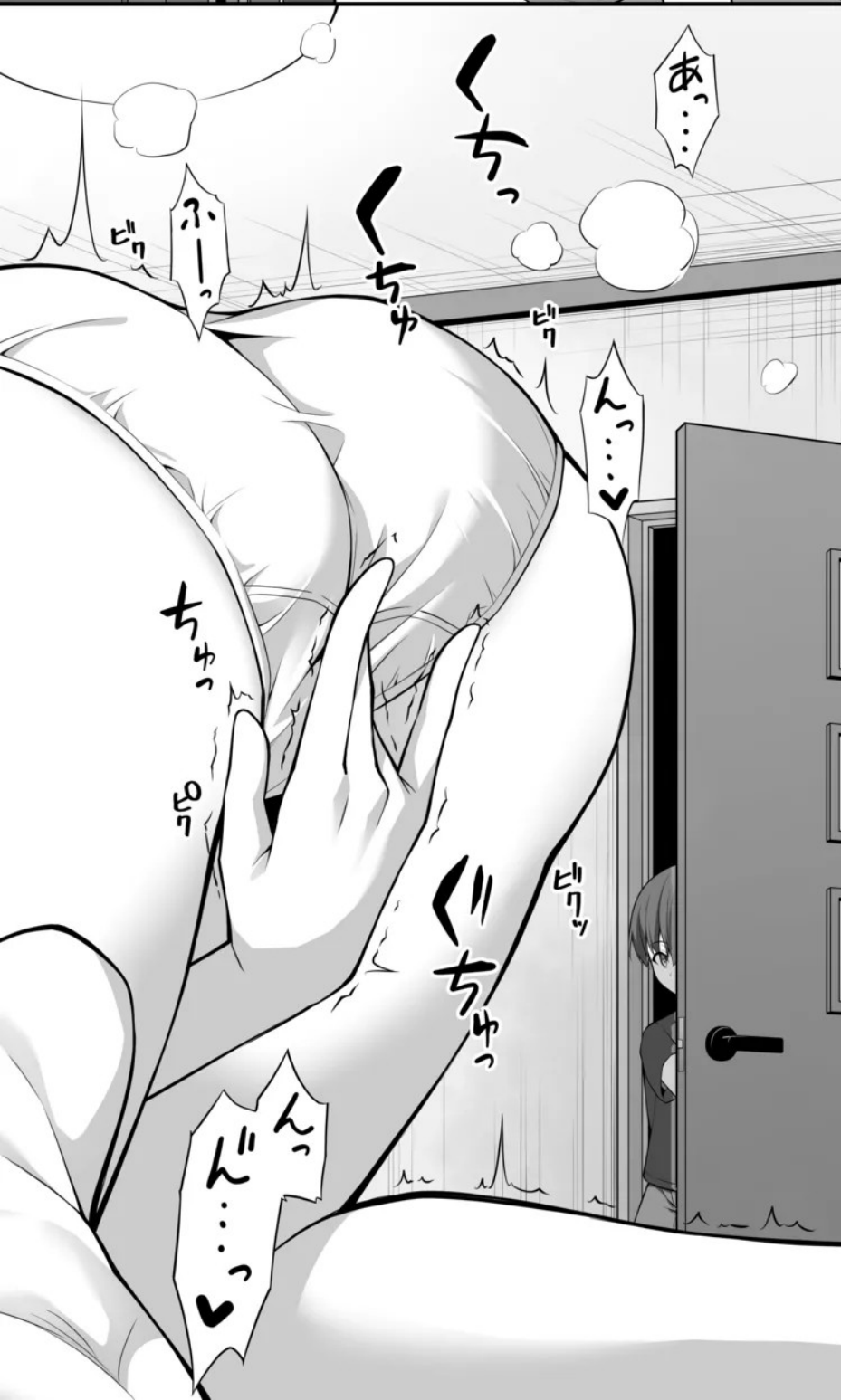


もっとはる姉の
そばにいたく
なって



昨日のあれが
やっちゃダメなこと
だってことは
なんとなく分かる……

はあ……
どうしよう……



あ……

くちゅっ

くちゅ

ちゅっ

んっ

んっ

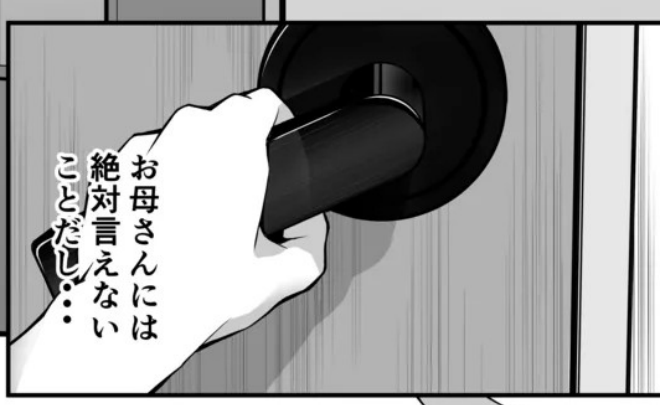


……けど

またはる姉に
気持ちよく
してほしい……



でも……
おちんちんを
あんなふう
に弄るなんて



お母さんには
絶対言えない
ことだし……



あ...
かなとお...

ほ

ほ

ほ

ほ...

ほ

ほ...

あ

あ
あ

あ

やっと上がって
きたあ...



うわあっ!
なにしてるの!

ふ服っ
パンツ
見えてるからっ!



うわああつ!

えいっ

ドヤ

ムッ



ととにかく服を...

...あ

キョ



40



もう... 昨日からずっと我慢してたんだから...

あ... ああ...

おま



だから今日は奏斗も...

私のおまんこ気持ちよくして...?



こうやって
私がおちんちん
舐めてあげるから

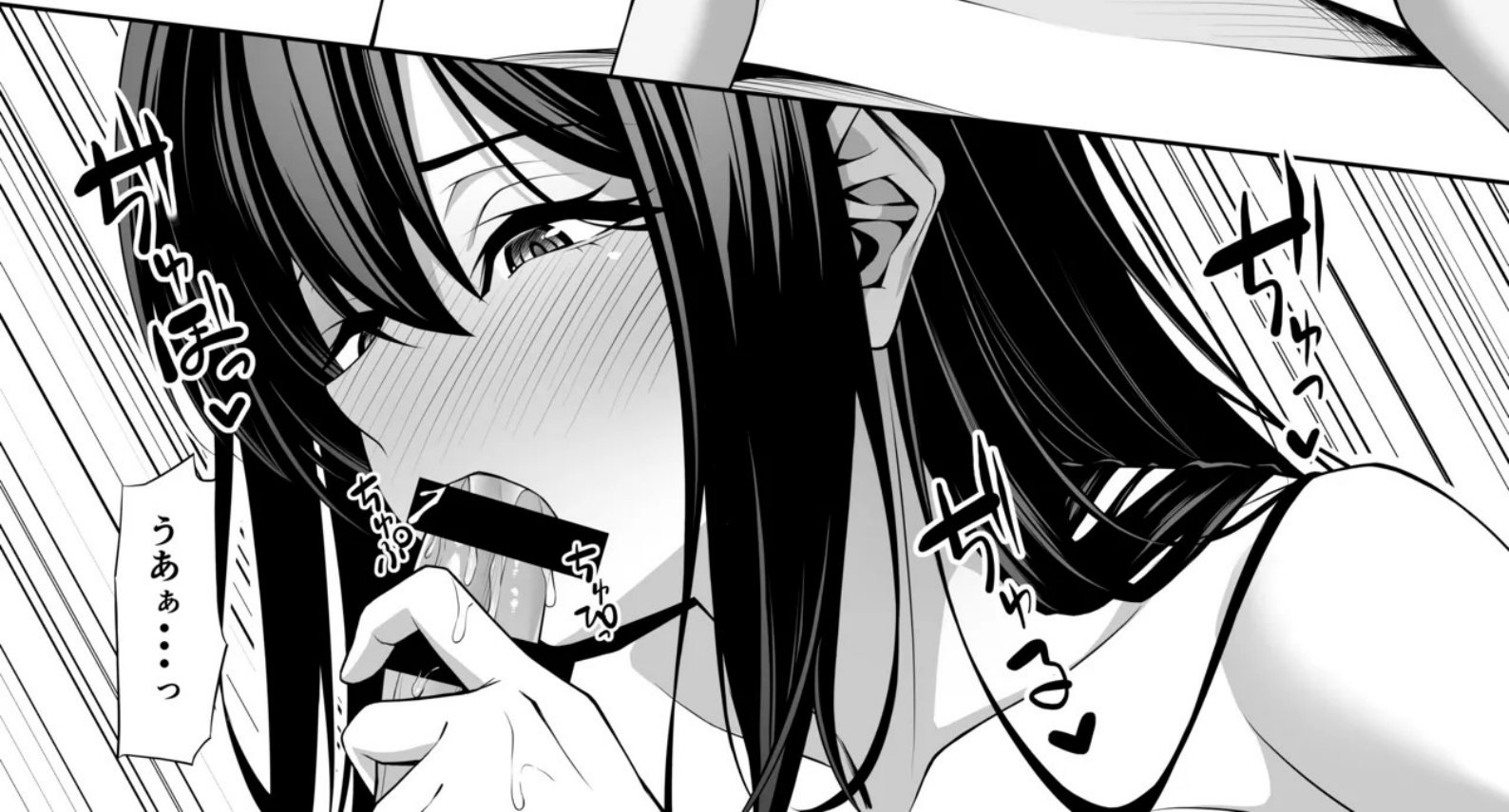
奏斗はここ
ぺろぺろして
ふふふふ...

う
.....
うん



それじゃあ...

ちゅ
ちゅ



うあぁ...っ

ちゅ
ちゅ
ちゅ

ちゅ
ちゅ
ちゅ
ちゅ
ちゅ



私も...っ
もっと気持ちよく
してあげるからね

あつ
そうっそこ
気持ちいいよ♡



こ...っ

んんっ♡



ほら
奏斗も舐めて
気持ちよくして？



はぁ...

あつあつ
は...っ
はるねえ...っ！

ん
もっとおちんちん
吸い上げて...っ



も...っ
先...っ

はぁ...





もうこのまま
しちゃおっか



な...
なにを...?



おちんちんも
おっきいままだし



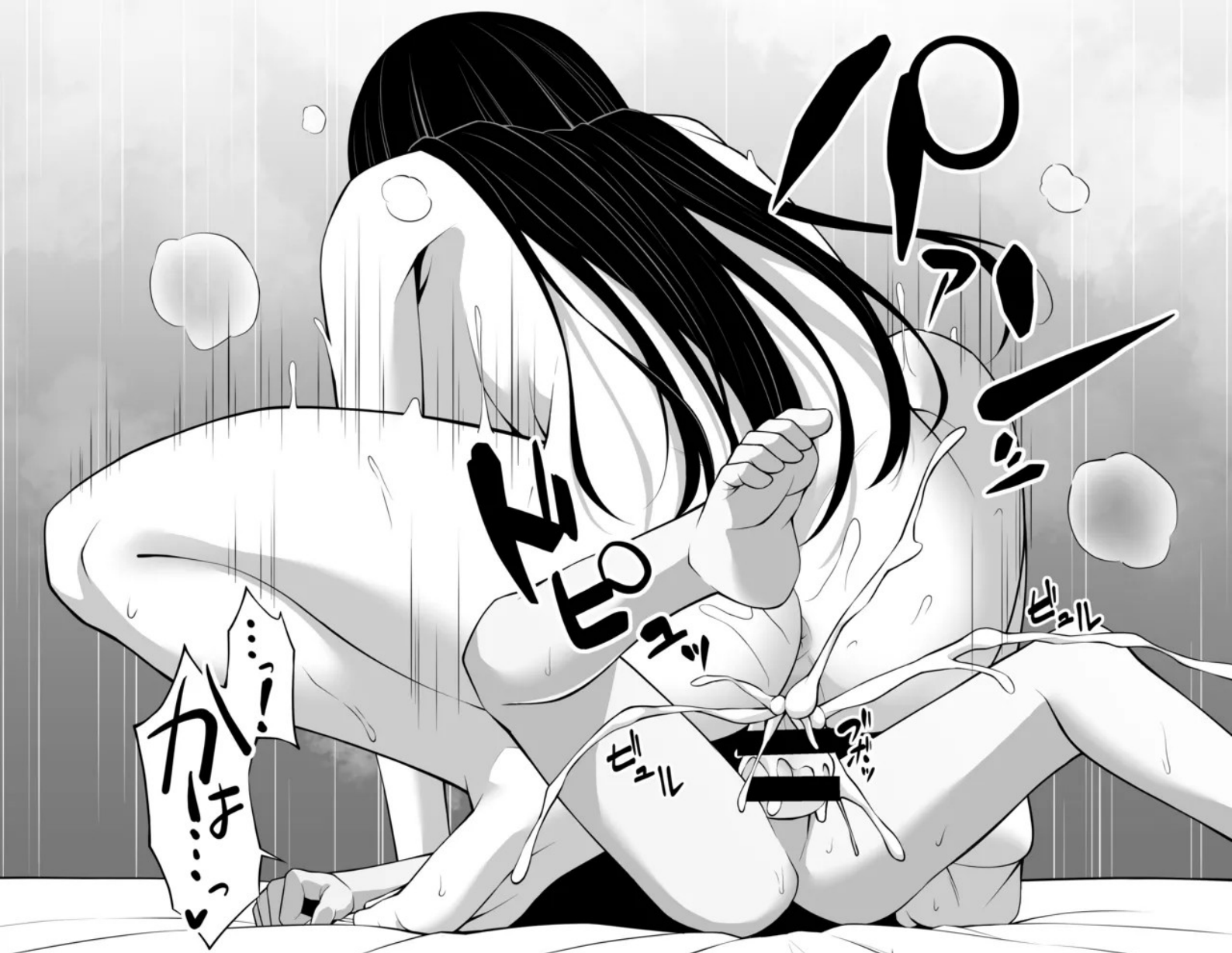
ん?

わかんないの?



奏斗
セックスって
知らない?♡

え...
それって—





ほ

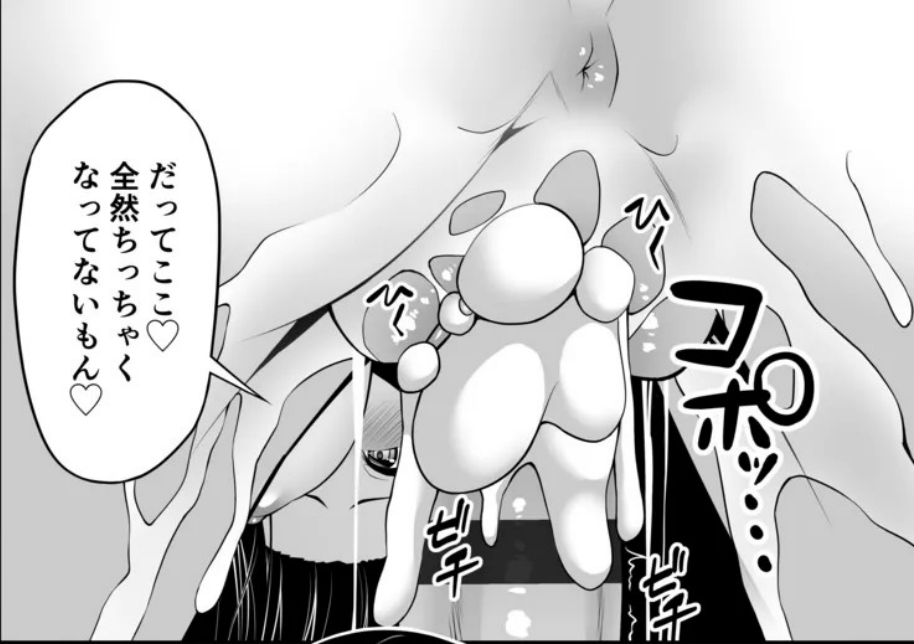
ほ

ほ

え……?
なに……

ひぐつ……

一回射精したから
次はもうちよつと
頑張れるよね♡

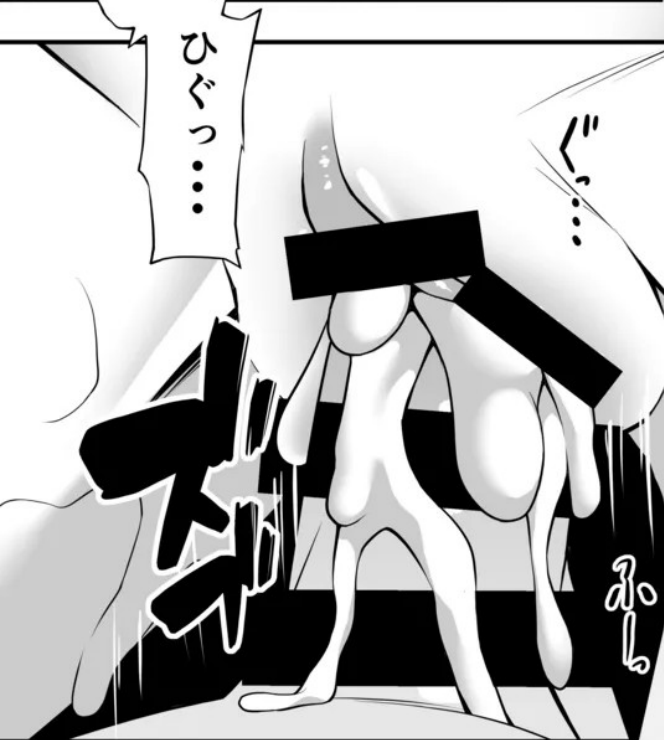


だってここ♡
全然ちっちゃく
なってないもん♡

コボッ……

ちよ

ちよ



ぐ……

ちよ

ちよ

あっ♡これ……
精液でぬるぬる
して……

ほ……

ほ



またすぐに
入ってきちゃう
……♡

ほほー
だめ……

……っはあ♡
全部入ったあ……♡

あ

ふ

ちよ

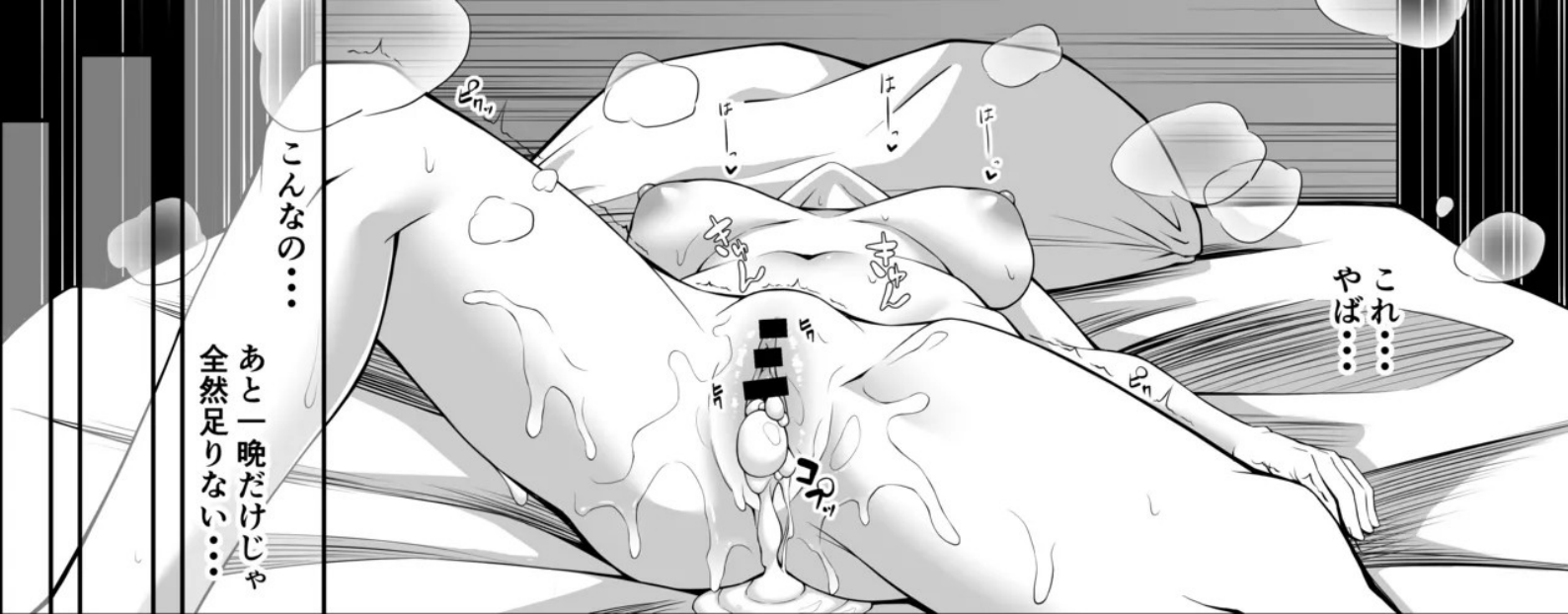
んあ

んあ

んあ

んあ





これ…
やば…

こんなの…

あと一晩だけじゃ
全然足りない…



ね 奏斗
私たち明後日の朝には
帰っちゃうんだよ

…うん

でもそれじゃ
こうして二人で
いれる時間が
少な過ぎじゃない？

それは
そう思うけど…

でも昼間は
みんなで出かけ
てるし…

そうそれ
そこが間違っ
たんだよ

え…？



明日私たちは
家に残ろ？

そしたらあと一日
時間使えるでしょ

どうかな
…？

そう…だね
そうしたい…っ

ほんと！
やった♡

明日が
楽しみだね♡



なんかって
何するんだよ……？

まあとにかく
それなら奏斗の
面倒は任せるぞ



ほんとにいいのか？
せつかくこっちまで
来たのに

せつかく来たから
奏斗となんか
したいの！

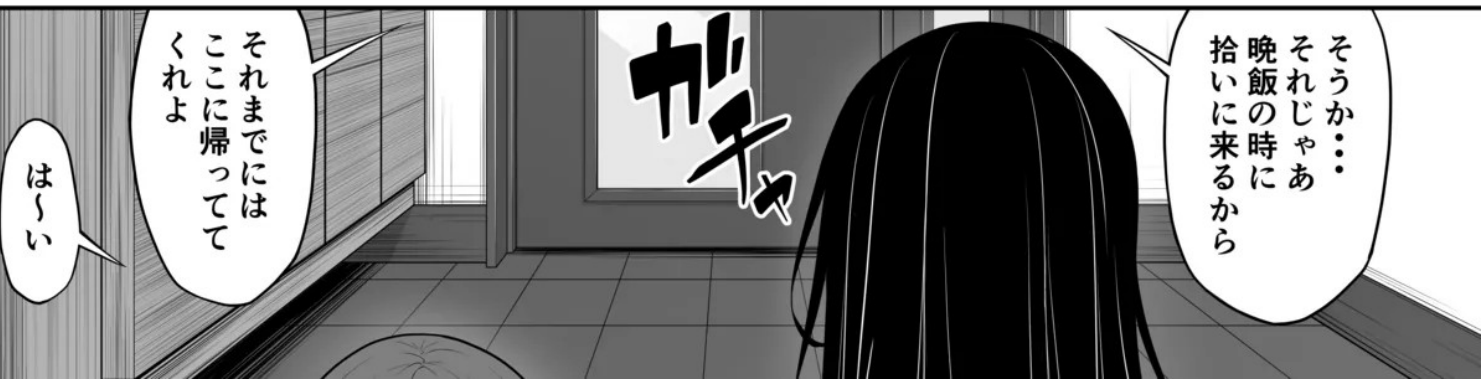


……うん
僕もはる姉と
一緒にいい

奏斗もほんとに
いいんだな？



当然♡



そうか……
それじゃあ
晩飯の時に
拾いに来るから

カチャ

それまでには
ここに帰ってて
くれよ

はーい



はい♡
ちゃんとこっちで
気持ちよくなって♡

はぁ...♡



あっ
来てるっ♡

奏斗に
拡げられ
てるっ♡



はぁ...

はぁ...

ん...っ



ほら
はやくっ♡

はぁ

はぁ



あっ…きもちっ♡
もっとお姉ちゃんの膣内におちんちん擦りつけてっ♡

たんっ

たんっ

あっ♡ あーっ♡
じょうず…
じょうず…っ♡

たんっ

たんっ



やっ♡ もうっ♡
いきなりおっぱい
挿んじゃ…♡

んやん!

もみゅ♡

ハチュ

ハチュ



か、奏斗すごいねっ
そんなにぎゅって
しがみついて—

必死に腰
振っちゃってる♡

セックス好きになっ
ちゃった?

私のおまんこ
好きっ♡

ハチュ

ハチュ

ガッパ

ガッパ



それ...
やば...っ

ほんとにっ?
私のこと
好き?



あっ
すきっ

すきっ
はる姉っ
だいすきっ!



私のおまんこが
好きただけじゃ
ないの?

ちがうっ
はる姉がすきっ

あち

じゃあおまんこは
好きじゃないのっ?

すきっ
はる姉の全部すきっ

あち



奏斗に
イカされ...っ



すきっ

きゅん

すきっ

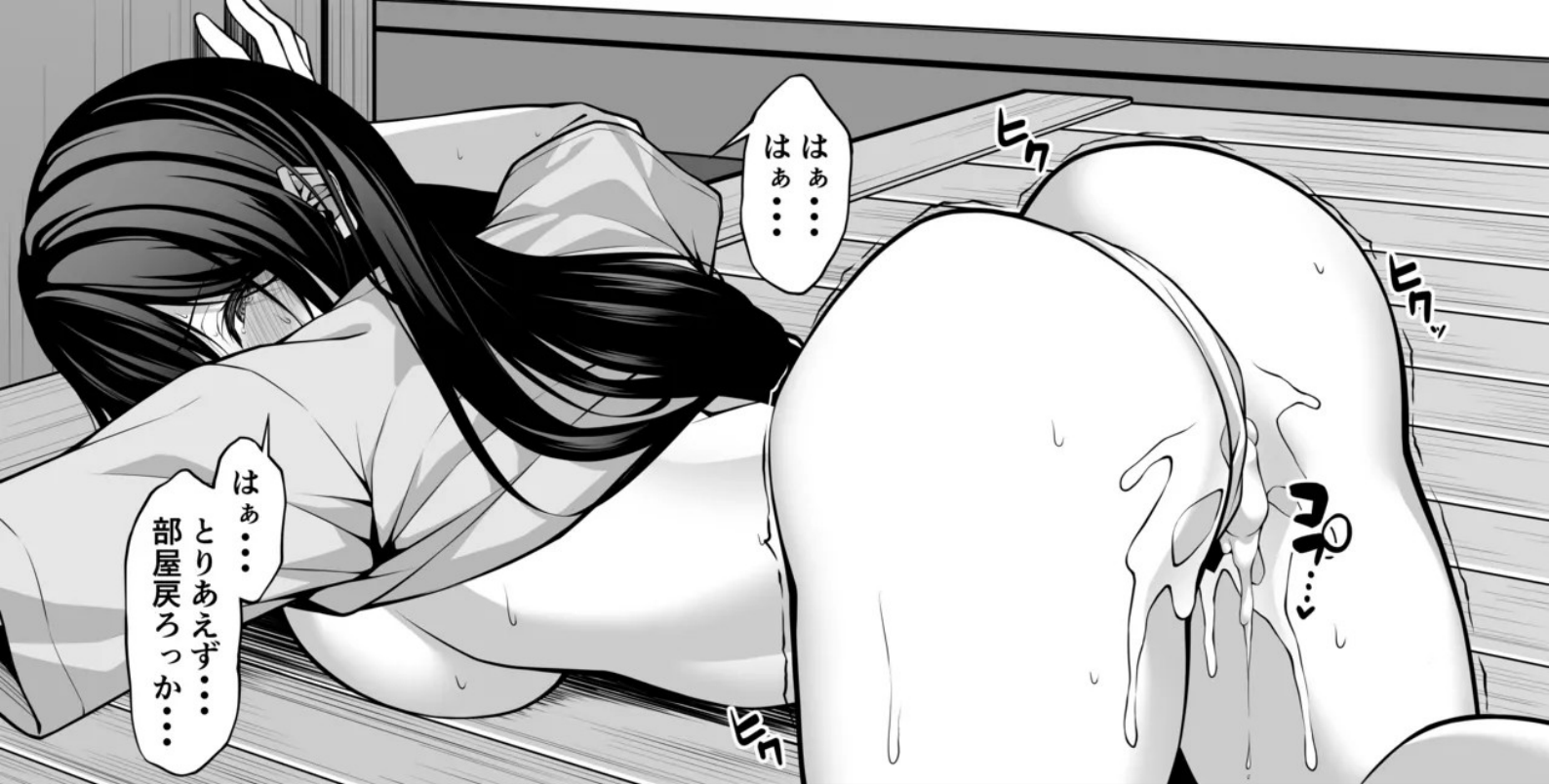


すきっ

あっ
はるね...っ

すきっ

あ...おまんこ
くら...っ



はあ…
はあ…

はあ…
とりあえず…
部屋戻ろっか…

ちよつと前までは
奏斗も素直だった

何年か前の奏斗は
今と違って
素直だった

私のことが
大好きで

その気持ち
を隠すこと
もなかった



私もそんな奏斗が
たまらなく
好きだったし

年に数回でも
会える度に幸せに
包まれていた

でも、ここ一、二年の間に
奏斗は少しだけ
大人になってしまった

素直さが少しずつ
無くなって私から
離れようとする…

…けど
それなら!



私が奏斗をもっと
大人にして
あげればいいっ！

恥ずかしさなんて
忘れるくらい私を
好きにさせる

実際、今こんなにも
気持ちいいし
それにより——

その為にはこうするのが
二人にとって一番
いい方法だって気づいた

奏斗の幸せそうな
顔が見られる……

私が幸せにして
あげられている……

それだけで……っ





はぁ
おしっこじゃ...
ないんだけど...
はぁ

ちよ...っ!
嗅がないで...

ん...
じゃあこれって
何なの?



えーと...
たぶん潮?
気持ちよくなると
出ちゃうみたい

汚してごめんね
後でちゃんと
掃除するから

ホウ

ホウ



今は...
おしっこ...

おちんちん
もつと
ちょうだい...♡

むね

あ



かばっ

んしょ...
こうたい

こいうの...っ
どう?
おっぱい顔に
押しつけ
られながら

パチュ

パチュ

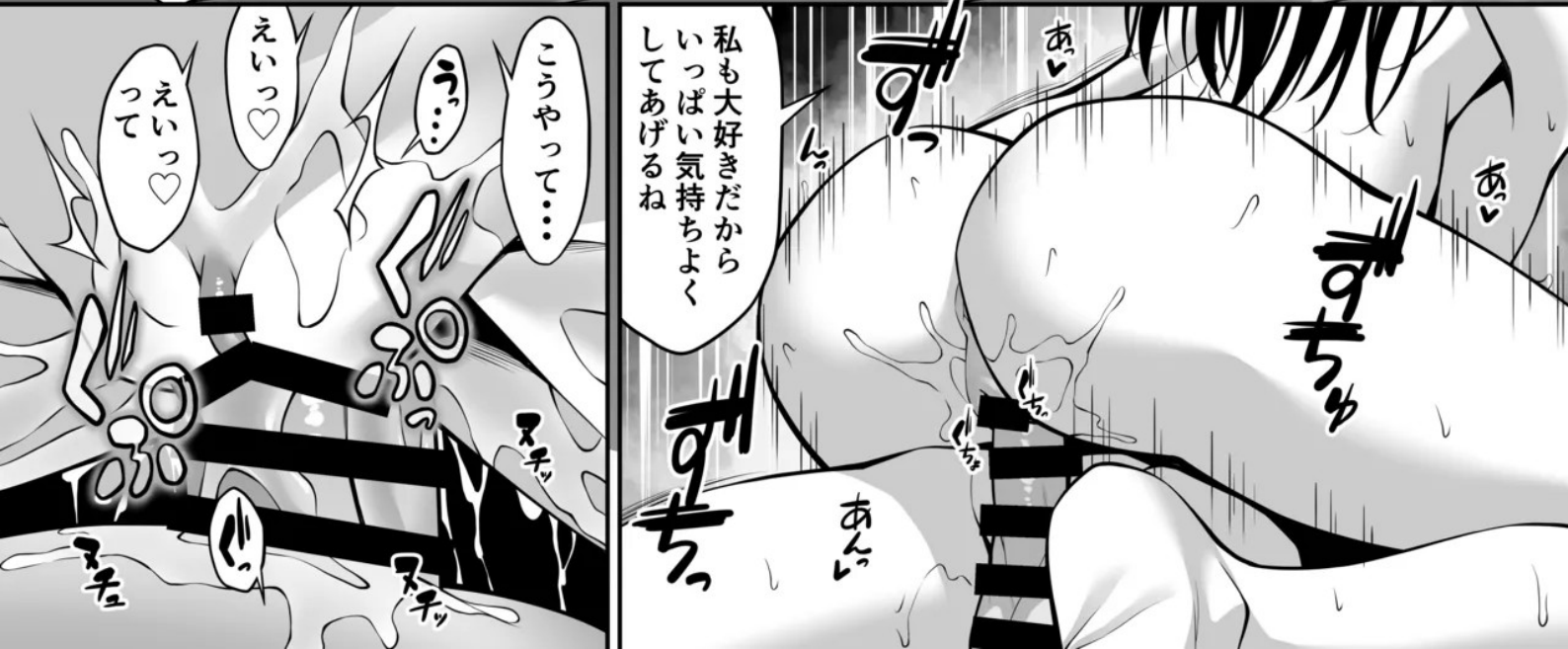
パチュ

?

パチュ

パチュ

お姉ちゃんに
動いてもらうのっ♡



私も好きだから
いっぱい気持ちよく
してあげるね

こーやって...

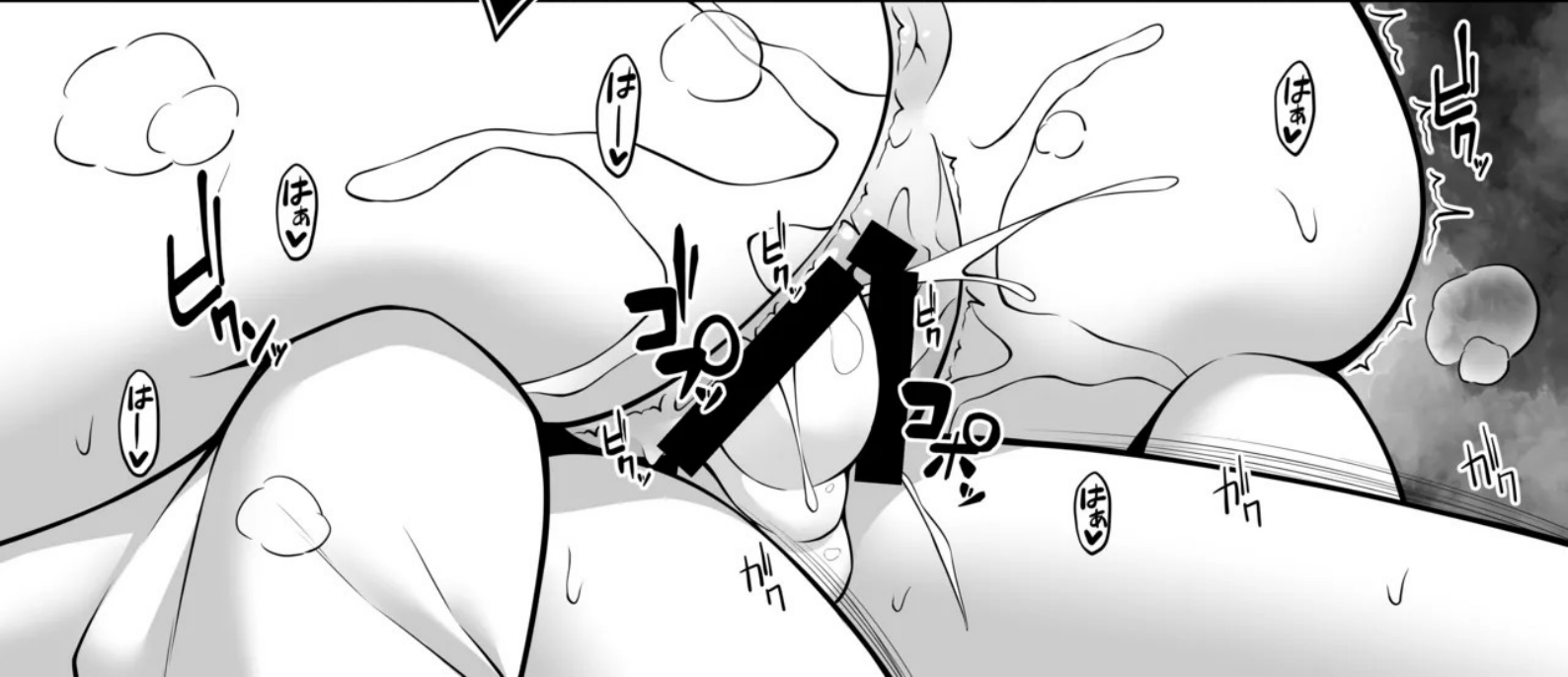
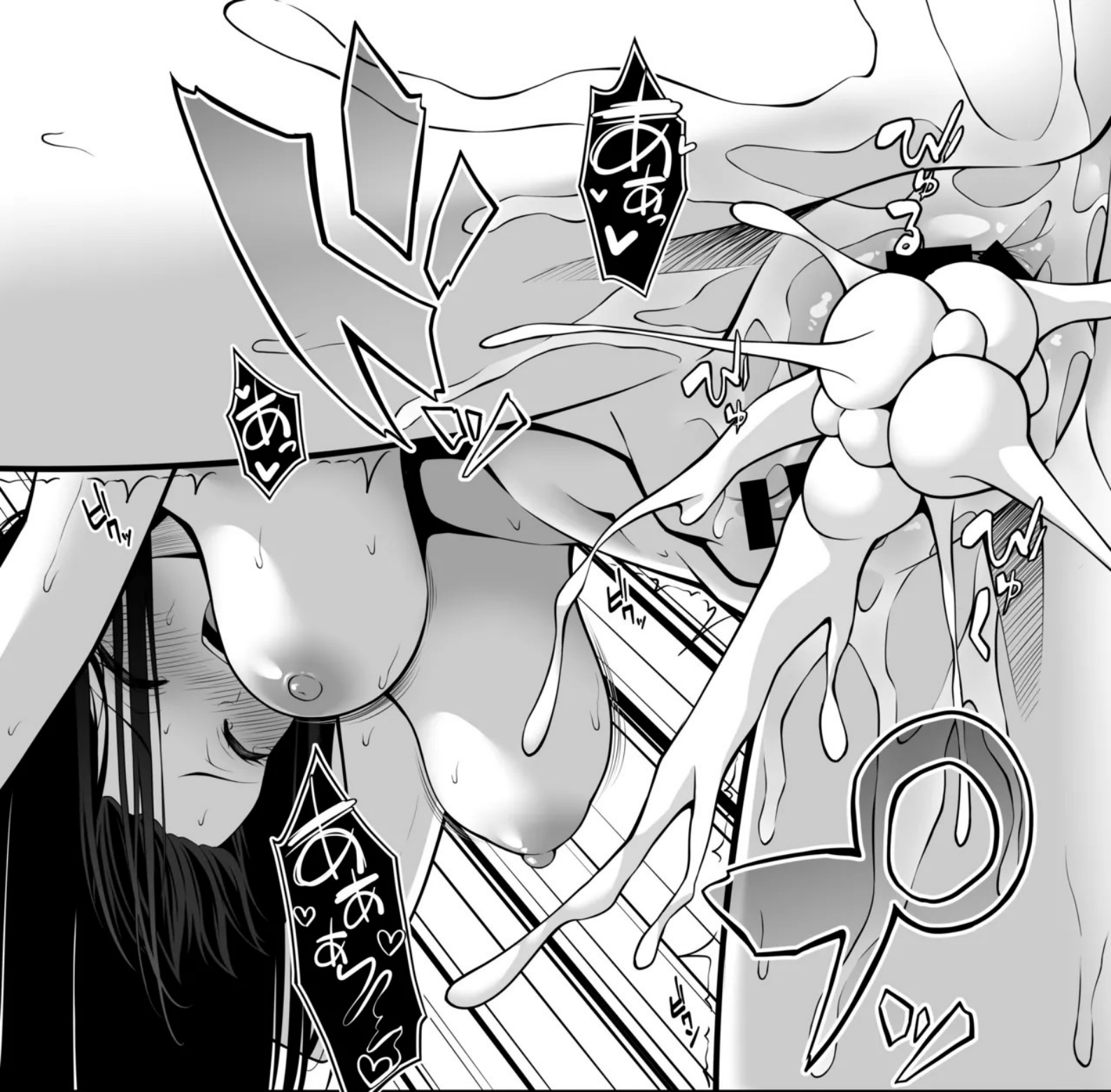
えいっ♡

えいっ♡
って

あーっ

あーっ

あーっ





もう……
部屋じゃないとだめ
っていったのに



ぎゅ

……はる姉



次は冬休みかな？

多分？
お正月は毎年
ウチに来るもんね



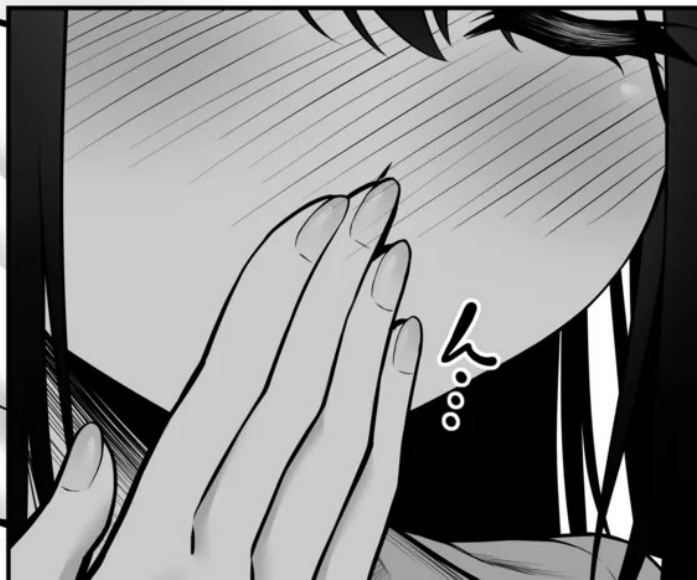
ちゅ♡



キョ

キョ

……じゃあ



ん



ふふっ
ふふっ
続きは
冬しようね

あふさふさ♡

